

専門研修プログラム名	かも（賀茂精神医療センター）精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	賀茂精神医療センター	
プログラム統括責任者	山口 博之	

専門研修プログラムの概要	賀茂精神医療センターを研修基幹施設とし、肥前精神医療センター、下総精神医療センター、湯が丘病院を連携病院とする本プログラムは、地域の救急医療、重度心身障害者医療、災害医療、特に司法精神医学をリードしてきた基幹病院で多くの期間研修を行うことを原則とするが、研修医の希望に応じて研修期間は柔軟に対応し他の協力施設の力も借りながら今後の精神医療をリードする精神科専門医を養成することを目的とする。特に、当院にて児童・思春期精神障害、アルコール・薬物依存症の症例を経験することは可能ではあるが、症例数が多くないため深く学びたい場合は、肥前精神医療センター、下総精神医療センターで研鑽を積むことを推奨する	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	基幹施設の賀茂精神医療センターでは、症例数が豊富にあり当院だけでも専門医の症例を経験することが可能であるが、時に一部の症例については不足する場合もあるため、その時は連携施設にてその症例の経験を積んでいただくこととなる。デイケア、訪問看護を行っており、地域精神科医療の症例も集められる。当院は中規模病院で募集する専攻医の人数も多いため指導医だけでなく全医師でバックアップを行っていく。また、実践を重視し外来、入院患者をそれなりの人数を経験していただくが、専攻医に無理のないように専攻医の力量に応じて軌道修正を行っていく。当直も診療に慣れるまでは指導医と2名体制で行う。特に当院では、司法精神医学に力をいれているため、興味があれば、鑑定助手、医療観察法病棟の患者の担当も指導医と2名体制で行う。国立病院機構のつながりを使って、身に着きたいスキルがあれば機構が実施する研修の参加などが可能である。協力病院の肥前精神医療センター、下総精神医療センターでは国立病院機構の中でも幅広い症例を経験することが出来る。現在はこの2病院のみ協力病院となっているが、専攻医の希望があれば県外の国立病院機構の病院に協力病院に参加することを打診することは可能である。湯が丘病院は広島県の中山間地域の中小病院に指定されており、地域医療を学ぶには最良の病院である。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	患者及び家族との面接、疾患の概要と病態、診断と治療計画、薬物・身体療法の基礎、リハビリテーション、心理社会的療法含む非薬物療法、精神保健福祉法など
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	専攻医の希望に応じて適宜、症例カンファレンスを行い、薬物療法を中心とした各種治療法を習得するとともに、各種検査法を上級医とともに実践し、独力で検査を計画し、診断能力を高める。また、地域で生活するために、各種専門職と相談しながら、社会生活に最適に適応させる知識・技能を 習得する。
	学問的姿勢	担当する症例を朝のミーティングで発表する。臨床研究として興味ある症例については、各種学術集会で発表し、精神医学的な研究者としての基礎を学ぶ。

	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	日本精神神経学会や関連学会の学術集会、各種研修会等に参加し、医療安全、感染管理、医療倫理等、医師として習得すべき態度等を履修する機会を設け、医師としての基本的診療能力を高める。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	1年目：基幹病院で疾病の概念、診断、精神療法、薬物療法についての基礎を学ぶ。2年目：基幹病院で積極的に新患者を担当して経験症例を獲得する。3年目：連携施設にて不足する経験症例、連携施設でなければ身に着けることが困難な技術を獲得する。当院にて児童・思春期精神障害、アルコール・薬物依存症の症例を経験することは可能であるが、症例数が多くないため深く学びたい場合は、肥前精神医療センター、下総精神医療センターで研鑽を積むことを推奨する
	研修施設群と研修プログラム	研修連携施設：肥前精神医療センター、下総精神医療センター、湯が丘病院
	地域医療について	3年間を通じて、入院中の患者さんへの退院前訪問看護への同行、外来患者への訪問診療、デイケア利用者の受け持ち、湯が丘病院で研修をする場合は、中山間地域での地域医療を体験する。
専門研修の評価	3カ月ごとにカリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を指導医と専攻医が確認しその後の研修方法を定める。また6カ月ごとには研修目標の達成度を研修施設の指導責任者と専攻医が評価し、フィードバックを行う。それら研修実績は記録簿で管理する。	
修了判定	3カ月ごとにカリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を指導医と専攻医が確認しその後の研修方法を定める。また6カ月ごとには研修目標の達成度を研修施設の指導責任者と専攻医が評価し、フィードバックを行う。それら研修実績は記録簿で管理する。	
	専門研修プログラム管理委員会の業務	研修プログラムの検討と修了判定
	専攻医の就業環境	基幹施設及び連携施設それぞれの施設で定める就業規則に基づく
	専門研修プログラムの改善	基幹施設と連携施設が共同で行う委員会においてプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施し、次年度プログラムへの反映を行う。また、専攻医からの意見も積極的に反映させる。

専門研修管理委員会	専攻医の採用と修了	採用：一次判定は書類選考とし、二次判定はプログラム統括責任者、副統括責任者との面接を基本とする。修了要件：研修ガイドラインに則って3年以上の研修を行い、専攻医と研修指導医が評価する研修項目表による評価と、多職種による評価、経験症例数リストの提出を求め、研修プログラム統括責任者により受験資格が認められたことをもって修了したものとする。その際の修了判定基準は到達目標の達成ができているかどうかを評価することである
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	専攻医と相談の上、プログラム統括責任者の判断に基づく
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	専門研修プログラム整備基準にのっとり、サイトビジットを受け、調査に応じ、義務をはたす。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	賀茂精神医療センター：山口博之（院長）、田中真二郎（副院長）、松川桃子（医長） 肥前精神医療センター：上野雄文（院長）、他 下総精神医療センター：女屋光基（院長）、他 府中湯が丘病院：原浩（院長）	
Subspecialty領域との連続性	精神科サブスペシャルティは、基本的に専門医取得したのちに研鑽して頂くが、司法精神医学については希望があれば研修中に研鑽が可能であるし、他の領域も国立病院機構の研修会を通じて研鑽を積むことは可能である。	

賀茂（賀茂精神医療センター）精神科専門研修プログラム

いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

基幹施設：賀茂精神医療センター

週間スケジュール（賀茂精神医療センターの勤務時間は8：30～17：15、週5日勤務）

週間予定表(法と精神医学以外)					
	月	火	水	木	金
午前	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス
	デイケア OT 病棟	OT 外来	デイケア OT 病棟 副院長回診	デイケア OT 病棟	・コメディカル部門ミーティング ・コメディカル連携ミーティング
午後	・管理、診療会議(2回/月) ・行動制限委員会(2回/月)	OT 訪問診療 第4火曜日 回復期閉鎖病棟治療会議 第3火曜日 退院支援全体会議 第4火曜日 宿泊体験室運営会議	デイケア OT 病棟	デイケア OT 病棟 第2木曜日 回復期開放病棟治療会議	毎週金曜日 急性期治療評価会議 第3金曜日 認知・高齢者病棟治療評価会議 NSTラウンド
	デイケア OT 病棟 第3月曜日 ICTミーティング		・医薬品情報カンファレンス ・医局カンファレンス	第1木曜日 家族会幹事会	

週間予定表(法と精神医学)					
	月	火	水	木	金
午前	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス	・医局ミーティング ・入院、退院、紹介患者の動向 ・ミニカンファレンス
	医療観察法病棟 OT 医療観察法病棟	OT 外来	医療観察法病棟 OT 医療観察法病棟 副院長回診	医療観察法病棟 OT 医療観察法病棟	医療観察法病棟 OT 医療観察法病棟
午後	・管理、診療会議(2回/月) ・行動制限委員会(2回/月)	治療プログラム ケア会議 CPA会議 第4火曜日 宿泊体験室運営会議	第1水曜日倫理運営会議 第2、4水曜日病棟会議 第3水曜日治療プログラム検討会議	治療プログラム ケア会議 CPA会議	治療プログラム ケア会議 CPA会議
	・医療観察法病棟 治療会議 病棟		・医薬品情報カンファレンス ・医局カンファレンス		

年間スケジュール

年間スケジュール	
4月	新採用医師オリエンテーション 接遇研修 ICT公開研修会
5月	NST公開研修会 メンタルヘルス研修
6月	CVPPP研修(4日) 院内感染対策研修 ICT公開研修会 日本精神神経学会学術総会参加 日本司法精神医学会参加 日本老年精神医学会参加 認知症研修
7月	NST公開研修会 国立病院機構精神科レジデントフォーラム参加 医療観察法関連職種研修会参加
8月	摂食・嚥下障害のある患者の援助研修 精神科医療における法と倫理の研修 ICT公開研修会
9月	一次救命措置研修(2回) NST公開研修会 精神福祉法に関する研修
10月	CVPPP研修(4日) 一次救命措置研修(3回) 院内感染対策研修 ICT公開研修会 日本児童青年精神医学会参加 アルコール・薬物依存関連学会参加
11月	医薬品の適正管理研修 NST公開研修会 作業安全研修会 国立病院総合医学会参加 障害者総合支援法における社会資源についての研修
12月	ICT公開研修会 障害者虐待防止法に関する研修会 SS活動研修
1月	医療ガス研修 NST公開研修会
2月	ICT公開研修会
3月	NST公開研修会
その他	賀茂東広島地区精神科医学会学術講演会・研修会(毎月)参加 心理研修プログラム(患者向け)5月・6月で4回、9月・10月で4回、1月・2月で4回 心理研修プログラム(家族向け)5月～8月で4回、10月～1月で4回 国立病院機構精神医学講義(基礎講座、応用講座)(週1回)

連携施設：週間スケジュールおよび年間スケジュール

①肥前精神医療センター

週間スケジュール（肥前精神医療センターの勤務時間は8：30～17：30、週4日勤務）

	月	火	水		木	金
午前	児童 G モーニン グカンファレ ンス 8:30 ～9:00	外勤日	病棟診療		外来 (予診+陪席) ↓ 入 院	モーニング カンファレ ンス 8:30 ～9:00
	院長回診** 10: 00 ～12:00			外来(再診)		
午後	病棟診療		脳波判読 会 13:00～ 13:30		国立病院機構 精神医学講 義 13:15～ 14:00	
			医局会 13:30～14:00		病棟診療	
			新入院報告会 14:00～14:30			
	教育回 診 15:00～ 17:30		チームミーティン グ又は 症例検討会* 14:30～15:00	病棟診療		
夜間					当直 17:30～翌朝 8:30	

*月に1度は症例検討会

**担当病棟の回診に参加

年間スケジュール

4月	新入医局員・研修医オリエンテーション
	CRAFT（依存症家族支援）研修
	「お母さんの学習室」第一期開催
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
	日本司法精神医学会参加
	日本老年精神医学会参加
	医療安全研修会
	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修 1回目
7月	ブリーフインターベンション&HAPPY プログラム研修会 1回目
	国立病院機構精神科レジデントフォーラム参加
	精神保健福祉法及び行動制限最小化に伴う研修会
	チーム医療研修「強度行動障害医療研修」
8月	精神看護研修
	司法精神医療等人材養成研修
9月	「お母さんの学習室」第二期開催
	医療安全研修会
	強度行動障害を伴う発達障害チーム医療研修
10月	佐賀県精神科集談会参加
	肥前精神医学セミナー
	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修 2回目
	日本児童青年精神医学会参加
	アルコール・薬物依存関連学会参加
	院内感染対策研修会
	虐待防止研修会
	司法精神医療等人材養成研修
11月	認知症ケア研修
	九州精神神経学会参加
	国立病院総合医学会参加
	日本臨床神経生理学会参加
12月	依存症に対する集団療法に係る研修（薬物）
	佐賀県精神科集談会参加
	院内感染対策研修会
	ブリーフインターベンション&HAPPY プログラム研修会 2回目
	司法精神医療等人材養成研修
1月	全国児童青年精神科医療施設協議会参加
	アルコール依存症研修
2月	医療倫理研修
	精神保健福祉法及び行動制限最小化に伴う研修会
	メンタルヘルス研修
3月	佐賀県精神科集談会参加
	九州地区重症心身障害研究会参加
	司法精神医学研修
	佐賀県かかりつけ医認知症対応力向上研修会

その他	肥前セミナー（年数回）
	先端精神医学セミナー（年数回）
	国立病院機構精神医学講義（基礎講座、応用講座）（週 1 回）
	モーニングカンファレンス（週 1 回）
	認知症多職種勉強会（月 2 回）
	児童グループモーニングカンファレンス（週 1 回）
	アルコール薬物関連問題勉強会（ひみこクラブ）（月 1 回）
	BI（ブリーフインターベンション）&HAPPY 勉強会（月 1 回）
	刑事鑑定カンファレンス（随時）
	佐賀大学臨床実習（隔週）
	九州大学クリニカルクラークシップ（年 1～2 回）
	DPAT 研修会
	新型コロナウイルス感染対策研修会
	BLS 講習会

※新型コロナウイルス感染対策のため、中止される

ことがあります。 時期は年度によって調整され

るものもありますのでご了承ください。

②下総精神医療センター 週間スケジュール

週間スケジュール（下総精神医療センターの勤務時間は8：30～17：15、週5日勤務）

	火	火	水	木	金
8：30-12：00	院長回診, 病棟カン メアレンス	外来診療, 病棟業務	外来診療	外来診療, 病棟業務	外来診療
13：00-14：00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
14：00-15：00	医局カンメアレンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15：00-17：15	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
週1回程度の当直					

下総精神医療センター 年間スケジュール

	内 容
4回	オリエンテーション
5回	
6回	日本精神神経学会学術総会参加、日本司法精神医学会 参加、日本老年精神医学会参加
7回	国立病院機構精神科レジデントメアラム参加
8回	
9回	
10回	
11回	国立病院総合医学会参加
12回	アルコール・薬物関連問題研修
1回	
2回	
3回	研修プログラム評価報告書の作成
その他	統合失調症家族教室(回) 刑事鑑定カンメアレンス(随時)

* いずれの施設においても、就業時間が週40時間を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。

③府中湯が丘病院 週間スケジュール

週間スケジュール（湯が丘病院の勤務時間は8：30～17：15、週5日勤務）

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務	病棟業務	外来	病棟業務	外来
午後	院内運営会議 病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務 地域連携業務
夜				症例検討会	

【年間スケジュール】

4月	オリエンテーション	SR1研修開始/SR2・3前年研修報告書提出	指導医の指導実績報告書提出
5月			
6月	日本精神神経学会学術総会参加	研修プログラム管理委員会開催	同門会臨床集談会参加
7月	中国六大学研修会参加		
8月			
9月			
10月	岡山県精神科医会講演会参加	SR1・2・3研修中間報告書提出	
11月	中国四国精神神経学会参加		
12月	同門会臨床集談会参加	研修プログラム管理委員会開催	
1月	岡山県精神科医会講演会		
2月			
3月	SR1・2・3研修報告書提出	研修プログラム評価報告書作成	

賀茂精神医療センター精神科専門研修プログラムローテーション例

1年目	2年目	3年目
-----	-----	-----

例1

賀茂精神医療センター	賀茂精神医療センター	賀茂精神医療センター (9か月以内) +NHO連携施設(※) (3ヶ月以上)
------------	------------	---

例2

賀茂精神医療センター	NHO連携施設(※)	NHO連携施設(※)
------------	------------	------------

例3

賀茂精神医療センター	賀茂精神医療センター	湯が丘病院
------------	------------	-------

※NHO連携施設は、肥前精神医療センター、下総精神医療センターから選択する。

例1: 賀茂精神医療センター標準コース

賀茂精神医療センターでの研修を最低2年間とする。3年目はNHO連携施設のみで1年間研修することも可

例2: NHO連携コース

2年目以降はNHO連携施設から選択する。同一のNHO連携施設で2年研修するか、別々の連携施設で1年間ずつ研修する。

例3: 地域医療コース

現時点では広島県ふるさと枠の応募者のみ選択可能